

社会的使命に基づいた経営をめざして
—危機管理を考える—

株式会社 開倫塾
<http://www.kairin.co.jp/>

1. はじめに

(1) 自己紹介

- ① 株式会社 開倫塾 代表取締役
- ② マニー株式会社 社外取締役
- ③ 開倫ユネスコ協会会長

(2) 私の好きな言葉

- ① 法律を学んだ者は常に最悪の状況を予想して行動すること(峯村光郎先生)
- ② 注意一秒、ケガ一瞬(宮沢浩一先生)
- ③ 一所懸命【一つの所で命を懸けるくらい熱心に何事にも取り組もう】(足利高校マラソン大会)
- ④ 自他共栄、練習で泣いて試合で笑え(椎名弘先生)
- ⑤ ブルドック魂、食いついたら離すな(岡田忠治先生)

2. 社会的使命に基づいた経営をめざして

(1) 経営とは営みを経て、目的を達成すること。

(2) 社会的使命(mission ミッション)に基づいた経営とは— Mission Based Management —

- ① 1つ1つの業務には、すべて社会的使命がある。
- ② とりわけ「公的業務」は、法令に基づき業務が存在する。
- ③ 業務執行に当たっては、法令を十分理解すると同時に、社会の要請を法の趣旨、立法者意思にまで遡って解釈し、適応することが求められている。

(3) とりわけ「新制度導入」時期にあつては、制度の趣旨を自ら理解するとともに、国民各層にできるだけわかりやすく丁寧に説明し、制度の円滑なスタートを図ることが求められている。(説明責任)

3. 危機を考える

(1) 問題意識の高さが危機管理能力を高める

(2) 問題意識とは「当事者意識」

- ① 新聞を読み、ニュースを見聞きし「これは問題だ、自分のところで起こったらどうしよう」と考えることができるのが問題意識の第一。

② 自分のところで発生したら、どのように対処しようかと考える

(3) 問題意識を「しくみ」をよくすることと結びつけるには

① 問題の本当の所在は何かを考える

② その本当の原因は何なのかを考える

③ 問題を解決する、人は発生させないために、どのようなしくみをつくったらよいのか、システム変更、制度改革を目指す。

④ そのために、調査研究

(ア) 社内ベストプラクティスのベンチマーキング

(イ) 同業他社のベストプラクティスのベンチマーキング

(ウ) 異業種のベストプラクティスのベンチマーキング

⑤ 実験 → マニュアルづくり → 修正 → 実験 → 全面導入

(4) トップと経営幹部の強力な支援と、現場責任者のリーダーシップが不可欠 (上位の人ほど丁寧な説明を)

4. 民間企業の危機管理

(1) 企業は原則倒産—昨日のように今日があり、今日のように明日がある、と毎日同じことをやっている、明後日は無いのが民間企業—

(2) 危機を放置すれば事業は成立しない

(3) 企業の存亡を懸けて危機管理に臨んでいる

(4) 具体的事例・・・

5. 終わりに — Learnong To Learn 学ぶこと(学び方)を学ぼう —

(1) 健康第一

① 健康とは心の健康と身体健康

② 自分自身の健康も大事だが、家族の健康、部下、同僚、上司の健康も大事

(2) 「一生勉強、一生青春」(相田みつを先生)

「教育ある人とは勉強し続ける人」(ドラッカー先生)

(3) では、どのような勉強をしたらよいのか—キーコンピテンシー—(OECDの研究成果から)

(4) 励まし合う仲間づくりを

御静聴を感謝申し上げます